

発行者／青森県中小企業家同友会 〒030-0931 青森市平新田字森越 12-28-2F
TEL017(752)0171 FAX017(752)0170 URL/http://www.aomori.doyu.jp E-mail/info@aomori.doyu.jp

コロナ特集号

緊急ヒアリング調査速報

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、各方面で活動の自粛が広がる中、会員各社がどのように対策し、新型コロナウイルスと戦っているのでしょうか。

事務局では会員の皆さんに電話ヒアリングを行っています。主な内容としては、

- ①新型コロナウイルスの拡大で生じている影響
- ②自社で講じている対策
- ③支援策として求めるもの

以上の3点です。

今回はこれまでのヒアリングの内容を抜粋して掲載します。県内のあの街、この街で頑張っている仲間がいらっしゃいます！ともに笑いあえるその日まであきらめず頑張りましょう！

支部別ヒアリング調査件数

| | | |
|--------|-----|------------|
| 青森支部… | 14件 | |
| 上十三支部… | 18件 | 合計 |
| 八戸支部… | 12件 | |
| 津軽支部… | 9件 | <u>58件</u> |
| 下北支部… | 5件 | |

【2020年4月22日時点】

今年に入って徐々に日本各地に影響を及ぼしている新型コロナウイルス。

青森同友会の活動も、例年であれば各支部の月例会や、合同入社式、4月には定時総会などの行事を行っていますが、中止せざるを得なくなりました。

この状況を受けまして、今できる事とは一体何なのか？を考え、微力ではございますが、皆様に会員企業の現在の状況など情報を発信していく事で少しでも力になりたい！その思いから、今月号のdoyuでは『コロナ特集号』とし、情報を掲載させていただきます。

代表理事より メッセージ

株式会社 大坂組
大坂 憲一氏



青森県中小企業家同友会会員の皆様、お元気ですか。

これまでに経験したことのない新型コロナウイルスに、日々世界中が苦しめられている中、私達同友会会員は今、何をすべきかわれています。政治も経済も教育もますます見通しが立たない状況に陥り、多くの人はその被害から逃れようと、社会との関わりを避け、不安な穴蔵生活をさせられているかのようです。

だからこそ、私達は時代に対応できる保証は「人材」にあると考え「共同求人」や「社員教育」に力を入れて取り組んできました。このことに自信を持って大切に考え、経験したことのない苦難に立ち向かいましょう。朝のこない夜はありません。

私達同友会は絶対に負けません。

飲食業



- ・売上が大幅ダウン。長年経営しているが、初めて来店者ゼロの日があった。店を閉める事は簡単だが、家賃などの経費を考えると店を開けてお客さんを待つ。今後はSNSを活用し、テイクアウトに力を入れる。(青森)
- ・営業時間を変更し、テイクアウトメニューを開発。一時期持ち帰り用容器が不足したが、現在は解消。今後も不足になると予想している。(青森)
- ・週末の売り上げ激減が酷く、日曜日の休業も検討している。せめてもの救いはスタッフが献身的に勤務してくれていることで、事態収束後に労いたい。(八戸)
- ・3月の宴会が全てキャンセルになり5/6まで休業。SNSを活用し、頓挫していたテイクアウトメニューも再開させ起死回生を図る。負けない!(八戸)
- ・来店者ゼロの日が出てきた。今は予約制に切り替えている。貸し切りでの3密防止を売り出したい。ビル中の店舗なので、感染者を出せば迷惑がかかるため十分に注意している。(八戸)
- ・実店舗は休業し、テイクアウトのみで対応している。新年度を迎え、学生が歓迎会を開くなど動きがあるため、リスクを軽減したい。(上十三)
- ・感染拡大で売り上げが急減。イトインからテイクアウトへシフトし、食事券の販売なども行っている。(上十三)
- ・イベントなどの中止で売上減。カフェでマスクを作り販売。社員と3S活動など、普段使っていない場所の清掃を行い、コミュニケーションを図る。(津軽)

小売業



- ・往来する顧客が減少。手紙を書くなどして不安を払拭するよう対応している。出来る事は何でもやる。自分が落ち込んではいられない!(青森)
- ・GWの予約が全てキャンセル。ミーティングで社員と昨対の売上数値を共有。解雇等しない約束もした。嘆く前に何かできないか模索中。収束後に選ばれる会社になる。(青森)
- ・出店している施設の来場者が激減。休業する店舗も多い。市外からのお客さんがこない。物流は滞っていないが、注文が無い。資金手当のため、利用できる制度が知りたい。(八戸)

- ・既存の商材を活用したコロナ対策商品の特需はあったものの、平常時の売上をカバーするには至っていない。宣伝広告費を抑制しつつ、公的支援策の活用を検討している。(上十三)
- ・介護部門での衛生対策が課題。とにかく資材が入荷せず苦慮している。店舗では小中高生向けの商品の動向が変化した。会員同士が連携して新たなサービスを生み出すチャンスでもあるのでは。(上十三)
- ・首都圏、関西方面の取引先が自粛の為売上ダウン。花見も祭りも中止となり、取引先のホテルも休館になるので厳しい。周りも厳しいので、仕方ない。乗り切る。(津軽)
- ・例年に比べて来店数が減っているが、暖冬の影響もあると感じている。メーカーの生産ラインが縮小するとの話もあり、本格的な影響はこれからだと思う。(下北)

サービス業



- ・公共施設が使えないためイベントが実施できず、スタッフのモチベーションが下がっている。SNSを通じた顧客サービスに活路を見出したい。(青森)
- ・週を追うごとに予約等の連絡が減少している。各種助成金の申請を検討したい。現時点では社員の不安を払拭することに注力している。(上十三)
- ・客足が減っているこの時期を利用してDIYで店舗の改装に着手している。昨対で売上が半減しているので雇用調整助成金、持続化給付金の手続きをすでに行った。(上十三)
- ・施設利用者、売上共に減少。首都圏での催事参加は5月まで中止の予定。朝礼も間隔をあげ、短時間で実施。(津軽)

卸売業



- ・飲食店の休業で、在庫過剰の状況。どの分野で生き残るか、社員とミーティングを行っている。先の見据えた行動をとらなくては。(青森)
- ・現時点では前年度からの持ち越し分の現場をこなしている状況。商品の停滞なども発生していない。全国的に感染が拡大しているので今後を注視したい。(八戸)
- ・物流が少なく、品薄の商品もある。営業もなるべく電話やFAXなどに切り替え、外出を自粛。今後はテレワークに注力したい。自粛の影響か、単価の高い商品より、安い商品が売れている。(八戸)

・公共事業の行方が不透明なため、対策に憂慮している。今後に備えて政府系の実質無利子融資などの利用を検討したいが、売上減の幅が条件を満たさないのがネック。(上十三)

・今後の影響を危惧。社員に毎週2枚のマスク配布。今回のコロナ禍を転じてチャンスに出来ないか模索中。(津軽)

建設業



・現在売上に影響はみられない。資材なども安定供給されている。マスクをしていない訪問客には入室をお断りしている。(青森)

・現段階で影響はほぼなし。安全大会は中止するが、事業所ごとの小規模で開催予定。会議中の換気を実施。今後の不安。(青森)

・極端な資材不足などは生じていないが、現場の進捗は下請けメインのため、元請け次第。また、直営工事でも施主から自粛要請が出た。(青森)

・現在は昨年度受注分の仕事がメイン。新規の案件は去年の半分に留まっている。普段できないでいた作業(道具の手入れ等)を行っている。(青森)

・仕事の影響は軽微だが、今後の不安。会議は中止して、連絡は電話で行っている。現場で感染者が出ないように十分注意をしている。(八戸)

・一部の資材で入荷の遅れが出ている。公共事業の現場で入場者が制限されるケースもあり、引き渡し時期との兼ね合いで気を揉んでいる。(上十三)

・身近でクラスターが発生。PCR検査で陰性だったため安心したが、もし陽性だったらと考えると恐怖。事前にしっかりと対策を準備しておく必要を感じた。(上十三)

・商材が生活必需品ではないため、消費マインドの冷え込みで施工延期となるケースが増えている。(上十三)

・顧客からの施工自粛の要請などもなく、ほぼ影響は出ていない。資材のほとんどが国産ということに起因しているかもしれない。(下北)

整備業



・部品の納期遅れがわずかに生じているが、大きな支障には至っていない。発熱の申告があった社員には有給休暇を利用して休ませている。(上十三)

・影響は軽微。今後は取引先自粛による影響が増えるとの予想。社員全体の朝礼、終礼を中止。幹部との会議の後、連絡することに変更。関連で社員が休んだとしても給与は支給する。(津軽)

・顧客に対する業務面では、ほぼ支障ない状況だが、社員の家庭などで休校中の対応に追われるケースが生じている。今後は時短営業も検討するかもしれない。(下北)

・業界団体の総会なども軒並み中止になった。業務的に資材関係の停滞などは生じていない。飲食業の皆さんを応援する新しい形を考えたい。(下北)

不動産業



・就職、進学関連でキャンセルが出ている。親の事情でアパートを解約して、実家から通うケースが出てきている。事業用の家賃減免措置の情報を発信。社内では出入りを厳重に。手続関係を書面のみで行うようにしている。(青森)

・この春は転勤などの動きも例年より少なかった。年度明けからの動きも薄いように感じる。飲食業への影響が心配。(下北)

情報通信業



・GW以降の案件が不確定。首都圏メインの営業なので自粛中。社員の半数はリモートで業務。感染リスクを減らすため、会議も減らしている。(八戸)

・打合せ(面談)が出来ない為、売上減。今出来なくても、収束後に取り返す。我慢の時。(八戸)

農業



・特効薬が無い中、自分の身は自分で守る。野菜で免疫力をつけようと購入者が増えた。意識が変わったのでは? 3密を避け、休憩をずらすなどしている。子持ちのスタッフの勤務時間を補い合うなど、協力しあっている。(八戸)

・地域の催事も中止で産直は悲鳴を上げている。秋口までの自粛を覚悟している。消毒液など、コロナ対策用品を同友会メンバーから購入している。みんなで乗り切ろう!(八戸)

その他



・仕事上人と会う事が多いが、感染リスクを減らすため、自粛気味。スポンサーにも厳しさが滲む。「価値のある中身づくり」の為、社員と会議を行っている。(青森・出版業)

- ・4月に入り、注文がほぼストップした。コロナの影響で取引先が廃業するケースが増えている。業種の性質上、リモートワークを導入できないのが課題。(八戸・製造業)
- ・稼働率がわずかに低下しているが、職員一人あたりの拘束時間が延びている。そのため、将来的に資金面での不安を感じている。(上十三・福祉業)
- ・顧客約1千社に対して、今回の事態も含めたBCP(事業継続計画)中の減災分野での営業を強化する方針。(上十三・防災業)
- ・春時期のイベント休止が売りに影響している。今後に向けて社労士とも相談を始めている。(上十三・警備業)
- ・感染拡大を防ぐため、全館休館措置をとる。非常に厳しいが、雇用は守りたい。(津軽・宿泊業)
- ・首都圏への仕事が激減。社員とはオンラインでコミュニケーション。今後は直接接触を減らす対策をとる予定。(津軽・運送業)
- ・外出自粛の影響から売りが減少している。ここ数週間で他府県ナンバーの車両が増えたように思う。入域の際の検温実施なども有効ではないか。(下北・燃料販売業)

まとめ

中同協では、3/17~3/31の期間で「新型コロナウイルス感染症等緊急アンケート」を実施し、青森同友会では68社から回答がありました。

その中で「経営へのマイナスの影響」という質問では72%以上が「すでに出ている」「今後懸念される」と回答しています。4月に入り、飲食業をはじめとしたサービス業を中心に影響が広がっています。

各社が行っている対策としては社員の皆さんを守るための衛生用品の確保・配布をはじめ、公的支援策の申請を既に行っている会員企業も一定数見られ、直面する課題への対応がうかがえます。加えて「雇用の維持」「社員の不安感払拭」など、全社一丸となってこの難局に立ち向かおうとする同友会理念に基づいた行動を取る経営者の方が多いことも勇気づけられます。各業種ともに、差の大小はあれど影響を受けています。同友会誕生の

源は経営者を孤独から開放することでした。今こそ、共通の課題で悩む経営者同士が離れていても情報交換し、この暗く狭い道のりを共に歩いていこうではありませんか。経営者の皆さん、一人ではありません。頑張りましょう。

電話によるアンケート調査は5月も続けます

そのため、現在事務局員より会員の皆様一人ひとりにお電話をさせていただいております。お忙しい中、大変恐縮ですが何卒ご対応を頂ければ幸いです。よろしくお願いたします。



4月総務委員会報告 於:事務局 2020.4.2(木)

※4月の理事会・総務委員会は新型コロナウイルスの感染リスクに配慮し、急遽、総務委員会のみで開催となりました。

1) 議題項目

- 4月総務委員会の報告について
- 3月の入退会報告
- 青森同友会4月の会議・会合実施について
- 会合活動休止期間中の会員に向けた働きかけについて
- 総会議案書の内容確認と決議について
- 2020年度青森同友会役員体制について

2) 入退会 会員数 395名/入会 3社/退会 5社

【次回開催日】2020年5月11日(月)14:00~/事務局会議室